

様式第2号（第40条関係）

年 月 日

乙訓消防組合 消防署長

申告者 住 所  
職 業  
氏 名

動 産 り 災 申 告 書

1	り災日時	年 月 日 午前・午後 時 分頃					り災物件との関係	<input type="checkbox"/> 所有者 <input type="checkbox"/> 管理者 <input type="checkbox"/> 占有者
	り災場所	□申告者の住所と同じ						
2	り 災 世 帯 員	氏 名	続柄	生年月日	氏 名	続柄	生年月日	
3	火災 保 険 の 契 約	保険会社名		契約年月		保険金額（万円）		
				年 月		万円		
				年 月		万円		
				年 月		万円		
4	り 災 物 件							
	品 名	数量	り災種別	購入価格	使用年数	損害見積額		
			焼き・消火・爆発	円	年	円		
			焼き・消火・爆発	円	年	円		
			焼き・消火・爆発	円	年	円		
			焼き・消火・爆発	円	年	円		
5	今後の 連絡先	□申告者の住所・氏名と同じ				電話		
		住所						
		氏名				本人の電話		
		(続柄： )						

(注) り災物件が本様式で記載できない場合は、様式第2号の2動産り災申告書（継続）に続けて記載してください。

## 動産り災申告書の記載要領

### (1の欄)

「り災物件との関係」の欄は、申告者との関係について当てはまるものに☑を入れてください。

### (3の欄)

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

### (4の欄)

- 1 「品名」・「数量」の欄は、動産の品名ごとに数量を記入してください。

例)

ズボン5、背広3、机2、テレビ1、洋服ダンス3等

- 2 「り災種別」の欄は、以下の内容に当てはまるものを○で囲んでください。  
焼き・・・火災によって焼けたもの及び熱によって変質、変形したもの、又は壊れたもの等を言います。(煙による損害を含む)  
消火・・・消火するために濡れたもの、壊れたもの、汚れたものを言います。  
(搬出又は避難に伴う壊れや汚れを含む)  
爆発・・・爆発現象の破壊作用により、壊れたものを言います。
- 3 損害見積額の欄は、購入価格が不明により記載できない場合、り災した物件の使用年数等を考慮して、被害の程度により見積額を見積もり記入してください。  
なお、使用年数は整数とし、1年未満の端数は切り捨てとします。

### 注意事項

- 1 この申告書は、消防法第34条第1項に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書の提出がなければ、り災証明書を発行できない場合があります。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 4 この申告書は、動産のあった建物ごと、世帯ごとに提出してください。
- 5 個人以外の届出又は個人の届出で本人以外のものが署名した場合は押印が必要となります。

### (その他)

この申告書でわからないことがありましたら、下記消防署までご連絡ください。

消防署 TEL — 0 1 1 9